

## 令和 6 年度 新宿区の主な自殺対策事業について

## 「相談窓口自動案内とハイリスク者へのインターネットゲートキーパー事業」 実績報告

## (1) 相談窓口自動案内「新宿ソウダンナビ」

## ●実績

(件)

	令和元年度 (7月～3月)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
トップページアクセス数	8,124	11,747	10,879	11,137	9,890	16,263
サイト上の行動者数	750	1,739	1,978	2,006	1,647	2,569
トップページにアクセスした者の内、支援機関のサイト等へ移動した者の割合	9.2%	14.8%	18.2%	18.0%	16.7%	15.8%

- ソウダンナビ事業の評価項目である、トップページアクセス数のうち、当該サイト上から支援機関へアクセスした者の占める割合は、事業開始年度（令和元年度）が 9.2%であったのに対し、令和 2 年度は 14.8%、令和 3 年度は 18.2%、令和 4 年度は 18.0%となっており、令和 6 年度は 15.8%と若干減少したものの、相談機関を利用するニーズが一定数あることが示唆される。
- 利用される相談機関は、「生活支援相談窓口（新宿区）」が利用数トップであり、次いで「相談ほっとLINE@東京（東京都）」、「働く人の「こころの耳電話相談（厚生労働省）」が続いている。利用数上位の支援機関サイトの傾向から、経済的支援のニーズとメンタルに係る支援が、例年同様高いことがうかがえる。

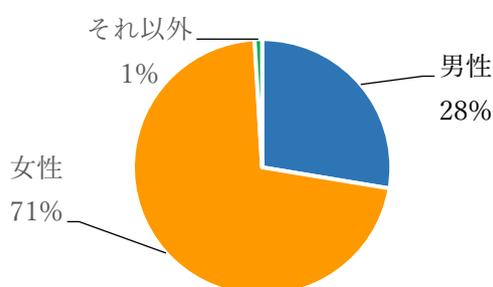
## (2) メール相談「インターネットゲートキーパー」

## ●実績

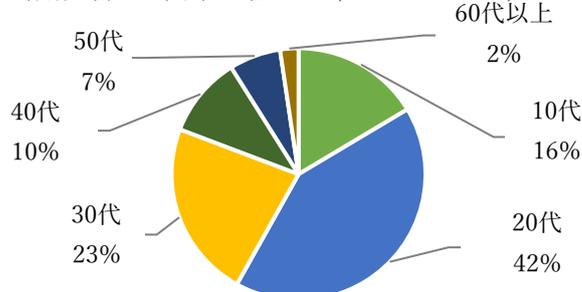
(件)

	令和元年度 (7月～3月)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
トップページアクセス数	6,755	6,328	4,443	5,817	8,775	9,195
新規受付数	157	120	105	108	157	154
相談者数 (男性・女性)	70 男性 20 女性 50	58 男性 12 女性 46	66 男性 18・女性 46 それ以外 2	65 男性 20 女性 45	85 男性 22 女性 63	83 男性 26・女性 55 それ以外 2

相談者の男女比 (R1.7～R7.3)



相談者の年齢別割合 (R1.7～R7.3)



- 令和元年度から令和 6 年度までの相談者のうち、若年層の割合は全体の 81%であった。令和 6 年度だけでみても 79.6%であり、非常に高い割合を占めている。一方で、40 代以上の利用もみられ、インターネット相談の普及とともに、アウトリーチできる年齢層が広がってきたものと思われる。
- 令和 6 年度は「精神健康」「自殺念慮」のほか、「家族」「勤務」「経済・借金」を主訴とした相談が多く寄せられた。また、「恋愛関係」の相談割合が同事業を行っている自治体の中で最も高い。
- 令和 6 年度の相談者のうち 21.7%が新たな社会資源につながっており、インターネット相談を入口として必要な支援を受けられる相談機関への橋渡しができたと考えられる。